

令和5年度認知症関連施策事業の実績

事業名	認知症サポーター養成事業
事業内容	・認知症キャラバン・メイトによる認知症サポーター養成講座の開催およびキャラバン・メイト活動の拡大
目 標	・認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る認知症サポーターを増やし、認知症の人と家族への支援の輪を広げる。
実 績	・認知症サポーター養成講座 実績20回 【R4：28回】
	サポーター養成講座受講者数 実績363人（うち初回受講者：310人） 【R4：535人（うち初回受講者：440人）】 小学生 53人 中学生 10人 高校生 70人 大学生 32人 団体・企業 23人 地域 228人
評 価	・今年度1回リモートでの講座開催を行った。複数回受講される方もおり、講座を通して市民の認知症理解が広がりつつある。未実施の小中学校での実施や企業サポーターの育成に力を入れていきたい。

事業名	認知症サポーター活動推進・地域づくり推進事業
事業内容	・地域における認知症高齢者とその家族への相談・支援の実施と、認知症の人への支援体制を構築し関係者間の連携強化を行う。 認知症地域支援推進員（地域包括支援センター内 7名） 専任1名（保健師）、兼務6名
実 績	・専任の認知症地域支援推進員を配置した。 ・新規に2名が認知症地域推進員研修を受講し、1名が現任者研修を受講。 ・認知症の人、家族への個別支援➡高梁（6）、津川（2）、中井（2）、宇治（1）、松原（1）、高倉（1）、落合（3）、有漢（4）、川上（4） 備中（1） ・9月認知症月間に合わせて、認知症理解啓発活動を実施した。（幟の設置、パネル展示・まちかど相談会の実施、行政放送、認知症フェアの開催、認知症普及啓発ポロシャツの作成、マグネットステッカー、啓発ポスターの掲示、オレンジガーデニングプロジェクトの実施、一般向け認知症サポーター養成講座の開催） ・認知症サポーターステップアップ講座を3か所で実施した。（羽場町内会・備中町布瀬地区・認知症サポーター希望者） ・チームオレンジ「チームオレンジ羽場」結成（R5.7.12）
評 価	・9月認知症月間に合わせて、認知症理解推進の取組を行い、今年度はゆめタウン高梁・ポルカ天満屋ハピータウンにおいて、街頭啓発やまちかど相談会、パネル展示を開催した。普及啓発の取り組みは今後も継続が必要である。 ・3か所目のチームオレンジが結成された。今後も各地でチームオレンジ結成に向けた基盤づくりが必要。

事業名	認知症ケア向上推進事業							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型施設を始め、認知症対応可能な専門職やキャラバン・メイトがいる事業所、ボランティア団体等により認知症の人とその家族、地域の人が集う場（認知症カフェ）を運営する。 							
実績	認知症カフェ 継続9、新規1 計10カ所 延99回							
	利用者：916人（認知症103人[R3：104人]、家族43人、一般770人、相談13件）							
			認知症の方	新規認知症	家族	新規家族	地域の方	相談件数
	1	カフェすずらん	9	3	4	1	65	2
	2	おしゃべり広場	4	2	1	1	88	0
	3	マスカットカフェ	4	1	4	1	112	0
	4	カフェ福ちゃん	3	2	1	1	21	1
	5	ふらっとカフェオレンジ	0	0	0	0	49	0
	6	なりわ茶屋	30	7	32	6	93	8
	7	なりわ茶屋in川北	13	2	0	0	73	0
	8	かわかみ茶坊	39	6	1	1	208	0
	9	カフェキク	1	1	0	0	47	1
10	サニー健幸ラウンジ	0	0	0	0	14	1	
	計	103	24	43	11	770	13	
評価	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険サービスを利用しない認知症の人やその家族が安心して通える認知症カフェが必要。 令和6年1月、株式会社メディケート（サニードラッグ）がサニー健幸ラウンジ（会場：ポルカ天満屋ハピータウン1階高梁観光情報館）を新たにオープンした。 							

事業名	認知症初期集中支援推進事業							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援チームを設置し、認知症の診断を受けていない方や、介護サービスの利用に結びついていない方等で、認知症と思われる対象者を医療や介護へ繋ぎ、自立した生活を支援する。 認知症初期集中支援チーム員 サポート医 3名 保健師 3名（うち1名、令和5年度研修受講） 社会福祉士 2名（うち1名 令和5年度研修受講） 介護福祉士 1名 計 6名 チーム数：1 							
実績	<ul style="list-style-type: none"> 新規初期集中支援チーム員の養成 2名 初期集中支援チーム員会議の定例開催（初） 8月、11月、2月 事例検討、情報交換を行い、連携を深めた。 初期集中支援チーム稼働：3件 							

評 価	初期集中支援チーム員会議を定例で開催したことで、情報を共有することができ、連携が円滑にできた。そのことにより、対応ケースも3件となり、介護サービスにつなぐことができ、本人や家族の生活を支えることができた。
-----	--

事業名	家族介護者交流事業（元気回復事業）
事業内容	・要介護者または介護者が市内在住で要介護者（40歳以上）を在宅で介護している家族介護者を対象に介護支援や介護に関する知識を習得などを行う
実 績	第1回 日時：令和5年8月30日（水）10：30～13：30 内容：福祉ネイル、参加者交流会、会食 参加者：7人 第2回（予定） 日時：令和6年2月27日（火）10：30～13：30 内容：ビューティタッチセラピー体験、参加者交流会、会食
評 価	・参加者は少数であったが、「自分ではできないことを体験してリフレッシュできた」、「参加者同士で話をして気持ちを共有することができた」などの意見があった。 ・昨年度までは感染症対策のため短時間での開催であったが、今年度は参加者で会食を行った。 ・家族介護者支援のため、引き続きリフレッシュや在宅介護支援ができるよう開催していく。参加人数が少ないため、広報活動の工夫が必要。

事業名	認知症高齢者見守り事業			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・みまもりネットワークの体制整備と高齢者位置情報サービスを利用する際の初期導入費の助成を行う。 			
	<p>[みまもりネットワーク]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症等により徘徊等で行方不明となる心配のある高齢者の家族に、事前登録をしてもらい、日常の見守りと行方不明時の連絡体制、警察や消防等との情報共有を行い、早期発見へ繋げる 			
	<p>[みまもりサポーター（大切なあなたを見守り隊）]</p> <p>みまもりメールに登録した団体及び企業</p>			
	<p>[高齢者位置情報サービス費助成]</p> <p>高齢者位置情報サービスを利用する際の初期導入費の助成 助成額：10,000円（初期導入費用のみ、維持費は本人負担）</p>			
※行方不明件数（市把握分）				
		R 3	R 4	R 5
行方不明事案		2件	4件	1件
みまもりネットワーク活用		0件	0件	0件

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・みまもりネットワーク登録者 30件【R4：31件】 ・みまもりサポーターの登録 39件【R4：39団体】 ・位置情報サービス初期導入費助成 0件【R4：0件】
評価	新規に8名がみまもりネットワークに登録し、関係機関と情報共有・見守りを行った。みまもりサポーターの活用ができていないため、あり方について検討が必要である。今年度から位置情報サービスの初期導入費の助成について、対象者と対象機器の拡大を行ったが、利用には繋がっていない。

事業名	成年後見制度利用支援事業
事業内容	・要支援者の判断能力の低下による金銭管理の不安を軽減するため、成年後見制度の申立てにかかる諸費用、成年後見人等の報酬の全部または一部を支給し利用を支援する。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市長申立人数 1名【R4：2名】 ・報酬助成決定者延べ件数 19件【R4：16件】
評価	・令和3年4月に設置された高梁市権利擁護センター（高梁市社会福祉協議会へ委託）と連携を図り、成年後見制度の利用促進を行った。

事業名	権利擁護事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対する虐待への早期発見・対応、生活上の困難事例の対応など権利擁護等アドバイザー（弁護士、司法書士、社会福祉士）の助言、指導により問題解決を図る。 委託先：公益財団法人 リーガルエイド岡山 [弁護士] 小野 寛之 [司法書士] 崎山 晃史 [社会福祉士] 加藤 貴之 <ul style="list-style-type: none"> ・被虐待高齢者の避難先の確保を円滑に行い権利擁護の促進を図る。
実績	高齢者虐待通報件数 0件【R4 7件】 権利擁護・虐待相談延数 74件【R4 169件】
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーや民生委員・主任児童委員に向けて虐待防止や早期発見・対応の周知を行った。 ・虐待防止定例会議の開催により、権利擁護等アドバイザーから定期的に専門的助言を受けることにより、虐待防止体制の強化を図った。

5. 認知症施策検討委員会での協議

第1回 令和5年7月21日(金) 13:30~15:00

《議題》(1)認知症基本法について

(2)令和5年度認知症総合支援事業について

(3)9月認知症月間の啓発活動について(グループワーク)

⇒街頭啓発等での啓発グッズの内容、市民ホールでのイベント内容の検討を行った。

【啓発グッズ】・もらって嬉しいもの、日用品として活用できるものが良い。

・「認知症とともにTAKAHASI」のロゴを入れる。等

【市民ホールでのイベント】

・場所を分かりやすく、入りやすい工夫をする。

・過去の行政放送の認知症特集やドキュメンタリー映画の放映をする。

・脳トレや認知症予防の体操等遊び感覚で体験できるようなコーナーを設けてはどうか。

(4)本人支援について

第2回 令和5年11月27日(月)13:30~15:30

《議題》(1)令和5年度の認知症総合支援事業の進捗状況について

グループワーク「認知症理解啓発活動についての評価」

⇒人が集まる場所で啓発活動を実施することで様々な世代に知ってもらいきっかけになった。

医療機関や認知症カフェがない地域で相談会を行ってはどうか。

今年度の啓発グッズのように来てくれた方が何かもらえるとよいのではないか。

公式LINE等を活用した広報、出入り口等目に付く場所での展示の検討が必要。

(2)本人支援について(グループワーク)

・今後の様々な場所で本人の声を継続的に聞き、その声を発信していく場が必要。

その声の続きもあるはずだが十分に聞くことが出来ていない。時間も手間も必要だが取り組んでいく必要がある。

(4)認知症初期集中支援チーム活動報告について

第3回 令和6年2月15日(木)13:30~

《議題》(1)令和5年度の事業実績及び評価について

(2)グループワーク①「認知症月間等で活用する横断幕のデザインについて」

グループワーク②「認知症ケアパスの活用方法について」